

## 第2章 地域ビジョンと数値目標

### 1 第2期計画の地域ビジョン（目指すべき理想像）

#### （1）第2期町総合戦略の目指すべき方向

町の第1期総合戦略では、「①若い世代の子育て環境をととのえる、②地域に根差した産業を育成し安定した雇用を創出する、③安全・安心な暮らしを実現し住み続けたいと思える地域を形成する」の3つの基本目標を掲げ、具体的な施策を推進してきました。

前述の第2期町総合戦略へ向けた課題を踏まえ、第2期町総合戦略においても、この3つの基本目標を継承するとともに、国が掲げる「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案し、横断的な取組として「自治体 DX<sup>※3</sup>を推進し、新しい時代の流れを力にする」を追加し、国や県の総合戦略と連動しながら推進します。

#### （2）地域ビジョン（目指すべき理想像）

こがねはえさと  
ともにつくる黄金南風の平和郷

本町の人口を維持し、町の活力をさらに向上させていくためには、若い世代が住みたい・住み続けたいと思える地域づくりが必要不可欠です。産業の振興や多様な働き場の確保、教育・子育て環境の充実、質の高い住環境の創出等を町民一体となって推進することで、若い世代に選ばれる地域を目指します。

第五次南風原町総合計画では、将来像に「ともにつくる黄金南風の平和郷」を掲げ、町民が地域社会への愛着と誇りを持って夢・目標を実現していく姿を目指しています。第2期町総合戦略においても、総合計画の将来像を踏襲するとともに、まち・ひと・しごとの観点から施策を推進することで、「ともにつくる黄金南風の平和郷」の実現を目指します。

※3 DX：デジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略称。進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念のこと。自治体においては、○自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させる、○デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくことが求められている。

## 2 基本目標と数値目標

本町の基本目標及びそれぞれの数値目標を以下のとおり設定します。

<b>基本目標 1 地域に根差した産業を育成し安定した雇用を創出する</b>		
<p>農業や伝統工芸など地域の地場産業の支援育成による基盤強化を図るとともに、各産業の連携による地域ブランドの創出、これらを含めた歴史・文化・祭り、集落などの地域資源のブラッシュアップと有効活用による観光産業の振興など産業全体への波及効果をもたらす取組を推進します。</p> <p>高規格道路による交通アクセス条件の良さなど、本町の立地特性を生かした新規産業用地の整備を促進します。</p> <p>「南風原町中小企業・小規模企業振興基本条例」に基づき、雇用環境の向上や学校におけるキャリア教育の実施など就労支援の充実を図ります。</p>		
<b>【目標値】</b>		
<p><b>6年後の従業者数について6%の増加を目指す</b>            (平成28年：従業者数 14,829人 (経済センサス活動調査))</p>		
<b>【重要業績評価指標 (KPI)】</b>	<b>現状値</b>	<b>目標値 (R9)</b>
・新規就農者数	延べ7人 (R2年度)	延べ15人
・データを活用した農業を実践している担い手の割合	—	30%
・学校給食における地域農産物の提供食数 (日数)	41日/200日 (R2年度)	75日/200日
・事業所数	1,441事業所 (H28年度)	1,759事業所
・創業相談件数	12件 (R2年度)	20件
・伝統工芸新規担い手数	延べ60人 (R2年度)	延べ100人
・かすり会館来館者数	3,900人 (R2年度)	12,100人
・南風原文化センター来館者数 (壕見学者含む)	3,856人 (R2年度)	28,000人
・職業紹介所における雇用マッチング数 (斡旋数)	延べ60人 (R2年度)	延べ75人

## 基本目標 2 若い世代の子育て環境をととのえる

若い世代の出産の希望が叶えられるよう、本町における子育て支援の更なる充実を図り、子育てをしたい場所として選ばれる地域づくりを進める必要があります。

子どもが安心して育つ環境の充実に向け、保育基盤の拡充、貧困、不登校、非行などにより、子どもが社会的に孤立することを防ぐとともに、行政と地域、NPO、民間企業等との連携による成長に応じた切れ目のない支援体制の構築を図ります。

また、次代を担う子どもたちの生きる力を育む教育環境の充実を図ります。

### 【目標値】

#### 6年後も出生率 2.22 を維持

(平成 25～29 年の合計特殊出生率：2.22 (人口動態保健所・市区町村別統計))

【重要業績評価指標 (KPI)】	現状値	目標値 (R9)
・待機児童数	40 人 (R3.4.1)	0 人
・デジタル技術も活用し相談援助等を行うこども家庭センターの設置	—	設置
・子育て支援の取組について満足している町民の割合	81% (R3 年度)	85%
・将来の夢・目標を持っている小学生・中学生の割合 (全国学力・学習状況調査小学 6 年生と中学 3 年生が対象)	小学校 89.5% 中学校 87.9% (R 元年度)	小学生 90.0% 中学生 88.0%
・1 人 1 台端末を授業や自主学習などでほぼ毎日活用している学校の割合	—	100%
・地域と連携・協働する体制を構築している公立学校の割合	—	100%

### 基本目標3 安全・安心な暮らしを実現し住み続けたいと思える地域を形成する

地震や台風、豪雨など自然災害への対応や、複雑化・多様化する犯罪への対処など地域の防災・防犯対策の促進を図るとともに、誰もが安心して都市生活を送ることができるバリアフリーのまちづくりなど、安全・安心な暮らしを実現するため施設整備等の充実をはじめ、地域コミュニティの強化による地域の支え合いを推進します。

また、町民が生き生きと健康で生活するため、すべての人が健康づくりに関心を持って、生活習慣病や介護の予防に取り組めるよう、情報提供、健診等の実施、運動機会の提供、コミュニティへの参画等を支援します。

さらに、景観行政の取組を推進し文化が薫り潤いのある都市環境の形成や廃棄物のリサイクルなど地球環境に配慮した循環型社会の構築、下水道整備を促進するとともに、公共交通など都市の利便性の向上を図り、誇りと愛着を持ち自らがまちづくりの主角として活躍できる、住みやすい地域づくりを推進します。

#### 【目標値】

#### 本町に住み続けたいと答えた人の割合 80%

(令和3年：77.0% (20歳以上アンケート調査))

【重要業績評価指標 (KPI)】	現状値	目標値 (R9)
・自主防災組織数	延べ4団体 (R2年度)	延べ10団体
・目標人口	40,440人 (R2年)	44,000人
・定住人口 (社会増減)	142人 (R2年)	171人
・下水道計画面積整備率 (整備区域/全体計画区域)	62% (R2年度)	67%
・自治会加入促進や地域活動への支援に関する満足度	25.7% (R3年度)	60.0%
・手上げ方式による事業実施団体数	延べ2件 (R2年度)	延べ10件
・メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	40.4% (R2年度)	28.0%未満
・特定健診受診率	32.8% (R2年度)	60.0%

## **横断的目標 自治体 DX を推進し、新しい時代の流れを力にする**

施策を推進するにあたっては、基本的な考え方や目標を念頭におき、各施策間が有効に連携し、総合的な効果が期待される共通の施策を横断的施策として位置づけ、これを推進することとします。

第2期町総合戦略では、国が掲げる「デジタル実装の基礎条件整備」に着目し、自治体 DX 等について横断的に取り組むことによって、施策全体の最適化や地域課題の解決を図り、地方創生の実効を高めます。

### 3 施策の体系

地域 ビジョン	基本目標	施策の展開	横断的目標
ともにつくる黄金南風の平和郷 <small>こがねはえさと</small>	<b>【基本目標1】</b> 地域に根差した産業を育成し安定した雇用を創出する	(1)地域産業の振興 (2)新産業用地の整備促進 (3)雇用支援	自治体DXを推進し、新しい時代の流れを力にする
	<b>【基本目標2】</b> 若い世代の子育て環境をととのえる	(1)子どもが安心して育つ環境づくり (2)生きる力を育む教育環境の充実	
	<b>【基本目標3】</b> 安全・安心な暮らしを実現し住み続けたいと思える地域を形成する	(1)安全・安心な暮らし (2)住み続けたい地域 (3)町民の健康づくり	